

令和2年度 冬休み前 全校集会

令和2年12月23日（水）

それでは、校長先生から明日からの冬休み前に皆さんに話をします。

先日、今年を表す漢字が「密」であったことが報道されましたが、今年は「密」というコロナウィルス感染症から出てきた言葉のとおり、コロナに始まりコロナで終わった一年であったように思います。

入学式、始業式の後すぐに家庭学習期間に入り、5月の下旬から学校が再開したもの、夏の部活動の地区大会が中止になり近隣の学校とのメモリーズマッチの形で行われたり、校内でまとめの儀式等を行ったりする形での実施を余儀なくされました。また、学校行事も中止や縮小されました。特に3年生については、修学旅行が東京から広島に変更になり、その後日帰りでの神戸方面の旅行に再変更になるなどコロナに翻弄された気持ちであったと思います。

しかし、このコロナ禍の中でも皆さんは前向きに学校生活を送ろうとしている様子が様々な場面で見られ、校長先生もうれしく思いました。中でも学校祭は、体育祭と文化祭をそれぞれ半日日程とし、合唱コンクールもなくなってしまいましたが、生徒会を中心として工夫を凝らし、例年にはない楽しい取組がたくさんあり、生徒の皆さんも楽しめたと思います。まさにピンチをチャンスに変えて取り組んだ成果であったと思います。生徒の皆さんのが積極的な姿勢やパワーに深く感動しました。この12月は寒い中で授業では換気もしながら受けることになるなど、まだまだ苦しい思いをしなければいけませんが、先生たちも知恵を絞ってこの状況を乗り越えようとしています。今後も気持ちを前向きにして生活してくれることを期待しています。

さて、いよいよ明日から冬休みになりますが、新型コロナウィルスの感染がなかなか収まりません。愛知県においても知事が年末年始の県外移動を自粛してほしい旨の呼びかけがありました。皆さんの家庭においても例年のように出かけることは少ないと私はいますが、自分たちができるうがい、手洗い、換気を行い、健康管理に努めてください。また、不要不急の外出は控えてゆっくり家で過ごし今年一年の自分の重大ニュースも考えてほしいと思います。

ちなみに校長先生の重大ニュースは、コロナ関連のことを除けば、一つはこの佐織中学校に勤務するようになったこと、2つ目は息子が結婚して孫が生まれたことです。この二つぐらいしか思い浮かばなかった一年でしたが、来年はもっと皆さんに紹介できることがあるといいなと願っています。

最後に一つ紹介です。プロ野球広島カープより一位指名を受けた佐織中出身の栗林選手が、12月中旬に愛西市役所に表敬訪問しました。その折りに、佐織中学校でもお祝いの懸垂幕が掲げられていることを知り、栗林選手から佐織中学校へ色紙とサインボール、タオルをいただきました。そのお礼として本校では、野球部と生徒会の皆さんにお願いをしてお礼の手紙を書いてもらうこととしました。手紙がまとまったところで広島球団に送ろうと思っています。サインボール、色紙についてはこの后来賓玄関近くに飾っておきますので、また時間があるときに見てください。これで校長先生の話を終わります。